

全国につながる鉄道ネットワークの維持・存続に向けたアピール

広島県の北部に位置し、近畿以西では最大の面積を有する本市には、新見市から広島市を結ぶ芸備線と、本市から松江市を結ぶ木次線の2路線の鉄道があります。

本市において鉄道は、通学・通勤等の日常生活や観光による地域活性化を図るうえで、重要な輸送資源であるとの認識のもと、広島県をはじめ関係機関と緊密に連携し、様々な利用促進施策を展開するとともに、ダイヤ改善や運行経費に対する国の支援等の要望活動に取り組んでおります。

しかしながら、本市をはじめとする一部のローカル鉄道の沿線自治体では、人口減少やマイカーの進展による鉄道利用者の減少が、ダイヤの減便や広域都市間を結ぶ直通列車の廃止につながり、更なる「鉄道離れ」が進むことを危惧しております。

また、バス・タクシー事業者においても、全国的に運転手不足や厳しい経営状況によって、路線の廃止・撤退を余儀なくされる状況が見受けられます。

地域公共交通が直面する「危機」を乗り越え、持続可能性の高い交通基盤とするためには、地域の輸送資源を総動員して交通体系を維持する必要があります。

こうした中、ローカル鉄道の再構築を促進するため、地域交通法に基づき全国初で設置された「芸備線再構築協議会」の初会合が今年26日に開催されるにあたり、本市は特定区間に存する自治体として、次の考えを踏まえ協議会へ臨みます。

- ・ 協議会での議論は、芸備線の一部区間の将来に関わるだけでなく、輸送密度1,000人未満の路線を含む他の路線の利用者意識や、中国地方を縦横に貫く鉄道の骨格形成、ひいては沿線自治体の地域振興にも影響を及ぼすものである。
- ・ 人口減少が進行するわが国において、都市と地方の間でサービスや社会インフラの格差や分断が生じることなく、どこで暮らしても、暮らす地域に愛着や誇りをもって生活できる環境が必要である。
- ・ 芸備線をはじめとするローカル鉄道の維持・存続に向けた取組においては、日常利用の利便性向上に加え、交流人口の増加や地域産業の活性化など、他の交通モードに代えがたい人口減少対策上の新たな価値や役割を最大限追求していかなければならない。

何卒、全国につながる鉄道ネットワークに関する本市の考えにご賛同いただき、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月11日

庄原市長 木山 耕三